平成17年度国立大学法人等職員採用(図書系)二次試験問題

注 意 事 項

- 1.問題は30**問(22ページ)**で、解答時間は**2時間**です。
- 2.この問題は、後ほど回収します。切り取ったり、転記したり、持ち帰ったりしてはいけません。
- 3.下欄に第一次試験受験番号、第一次合格通知書番号及び氏名を記入してください。

第一次試験受験番号	第一次合格通知書番号
T 42	
氏名	

指示があるまで中を開いてはいけません

ľ	Ν	O	1	1

次は,「著作権法」第31条である。(1)~(4)に該当する語句を答えなさい。

(図書館等における複製)	
第31条 図書,記録その他の資料を公衆の利用に供することを目的とする図書館その他の施設で政令で	で定め
るもの(以下この条において「図書館等」という。)においては,次に掲げる場合には,その営利を目的と	:しな
い事業として,図書館等の図書,記録その他の資料(以下この条において「図書館資料」という。)を用い	て著
作物を複製することができる。	
1 図書館等の (1) の求めに応じ,その調査研究の用に供するために,公表された著作物の)一部
分(発行後相当期間を経過した (2) に掲載された個個の著作物にあっては,その全部)の	製物
を1人につき1部提供する場合	
2 図書館資料の (3) のため必要がある場合	
3 他の図書館等の求めに応じ , (4) その他これに準ずる理由により一般に入手することだ	胚難
な図書館資料の複製物を提供する場合	
【解答欄】	
(1) (2) (3)	
[No.2]	
次は ,大学図書館の機能として一般的に挙げられる二つの機能について述べたものである。(1) ~ (4	1)に
該当する語句を答えなさい。	
1)学習図書館的機能	. 1–311
学部学生の学習活動と教員の教育活動にサービスする機能。そのために (1) を作成する	
担当者と密接に連携・協力し,学生の学習のために,授業に直接関連して必要となる,課題図書等を研究を表現した。	
整備することが必要。また、最近は学生が必要な情報を効果的に探索して評価し使用する能力を身にご	ける
よう, (2) 」教育を学習図書館的機能の要素として整えておくことも多い。	
2)研究図書館的機能	
飛躍的に増大する学術情報の蓄積と共有資源としての活用を図ることによって,研究者である教員の	
活動を支援する機能。学術図書や研究論文,二次資料などの紙媒体の資料を広範に収集すると共に,電	
体である(3) や二次情報(4) へのアクセスを可能にすることも求められて	ハる。
F 4774-6-199-7	
【解答欄】	
(1) (2) (3)	

[No.3]

次は,平成14年3月に科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会情報科学技術委員会のワーキンググル ープが審議のまとめを行った「学術情報の流通基盤の充実について」の一節である。(1)~(3)に該当する 語句を下から選んで記号で答えなさい。

1)凶書館	における	電子図記	善館的機能	の整備

大学図書館は,大学等からの情報発信機能を充実させるため,学内で生産された学術情報の積極的な発信 を行うほか,電子ジャーナル等の普及に対応したサービスの展開など,大学等からの情報発信機能の整備に 関して,総合的な企画・立案を行う機能及び発信される情報の (1) 機能を担うことが求められ ている。

2)体系的な資料所在情報の整備

大学等において、総合目録データベースへの目録所在情報の登録を推進する必要があるほか、図書館資料 の共同利用を促進するために,資料の学外者,他大学への貸出などに積極的に取り組む必要がある。また, プレプリントやファクトデータなど大学等から発信される情報に関する (2) についても,大学 等が統一的な方式を導入することが有効であることから、国立情報学研究所が定める統一的な方式により、 情報を発信する部局、研究者等の協力を得つつデータの蓄積と保存を図る必要がある。

3)電子化情報の (3) 機能の整備

電子情報のみにより流通する学術情報が出現していることから、それらを体系的に保存する機能を整備す ることは重要な課題である。長期的には、当該国において収集し半永久的に保存するという冊子体出版物の 納本制度に相当する仕組みを導入して,国際的な分担により各国の国立図書館等で (3) するなどの方法が考えられ,再配布の可能性等 | (3) | の二次利用も視野に入れた広範な関係者の 合意が望まれる。また、このための技術についての研究開発も必要である。

- a. アーカイブ
- b. アブストラクト
- c. インデックス
- d. インポート

- e. シソーラス
- f. ディスクロージャー g. テキスト
- h. フレームワーク

- i. ポータル
- j. ミラー
- k. メタデータ
- l. レファレンス

【解答欄】

(1)

(2)

(3)

[No.4]

ファーミントンプランとは何か。簡潔に答えなさい。

【解答欄】

[No.5]

出版流通における委託販売とは何か。その特長と課題もあわせて簡潔に答えなさい。

【解答欄】

(委託販売とは)

(特長)

(課題)

[No.6]

次は,図書館資料の受入業務に関連する記述である。このうち,(1)アプルーバルプラン,(2)ブランケットオーダー,(3)スタンディングオーダーについて説明したものを,下から選んで記号で答えなさい。

- a. 全集や講座などの継続出版物又は雑誌などを,初めに注文した後は,発行の都度注文しなくても継続して納品されるようにする方法。
- b. 図書館が自館の刊行物や重複資料あるいは類縁機関の刊行物など相手館に送付・提供することによって, 相手館や類縁機関の発行物を入手する方法。
- c. 個人や団体の蔵書を期限 (無期限を含む。)をつけて,利用者に提供することを条件に,図書館に管理運用を委託する方法。
- d. あらかじめ図書館から示された主題 , レベル , 言語などの条件を基に新刊書を選定し , 見計らいで納入する方法。
- e. ある特定の主題や出版社を選定し,その枠内の出版物を(返品できないことを原則として)全て購入する 方法。

【解答欄】

 $(1) \qquad (2) \qquad (3)$

[No.7]

次は、図書館資料における各種の番号についての記述である。正しいものには を,正しくないものにはxを答えなさい。

- (1) ISBN (International Standard Book Number) は,書籍を識別するために国際的に与えられた唯一の番号であり,10桁の数字・英字(X)と分類番号から構成されている。1桁目は出版国又は言語圏を表し,日本の場合は「3」が付与されている。その番号の管理は国立国会図書館で行われている。
- (2) ISSN (International Standard Serial Number)は,世界の逐次刊行物の各タイトルを識別するために与えられた唯一の番号であり,8桁の数字・英字(X)から構成されている。雑誌のタイトルが変わるとその都度新しい番号が付与される。その番号の管理はISSN日本センターで行われている。
- (3) DOI (Digital Object Identifier) は,デジタル化された図書,論文や図表などの著作物をインターネットのブラウザによって利用者に直接届けるためのシステムなどで用いられる識別コードであり, DOI システム管理機関が発行する出版社コードとその出版社自身が付与する任意の文献識別コードから構成されている。

【解答欄】

 $(1) \qquad (2) \qquad (3)$

[No.8]

次は,図書館の蔵書形成のための収集方針(選択基準,除籍基準を含む。)に関する記述である。適切なものには,適切でないものにはxを答えなさい。

- (1) 図書館の蔵書を構成する要素には,資料種別,管理組織別,利用者別,主題別,言語別などがあるので,その図書館の目的によって,各要素別の収集方針を明確に示しておく必要がある。
- (2) 収集方針には,各分野の資料をどの程度収集するかを指定しておくことも重要であり,その方法のひとつとして,主題分野ごとに蔵書レベルを記号で示す「コンスペクタス方式」が利用できる。
- (3) 図書館の収集方針は,どのような図書を購入するかを示すものであるので,特定の書店・出版社など会計上利益を得る可能性のある業者に,収集方針を渡すことも見せることも慎む必要がある。
- (4) 収集方針に基づいて資料の選択をする際に,ツールとして出版流通情報誌を使うが,書評類は主観が入るので使わない。

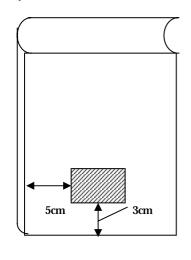
r	解炫欄	1
L	胜合慷	4

(1) (2) (3)

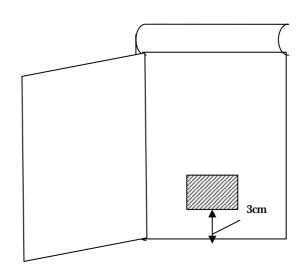
[No.9]

資料の受入整理を担当して半年経ったAさんは,ある日先輩から,図書の装備を行うための係内のマニュアルを書くように指示された。以下の装備済みの図書を参考にして,Aさんが作成しているマニュアルを完成させるために(1)~(4)に該当する語句を下から選んで答えなさい。

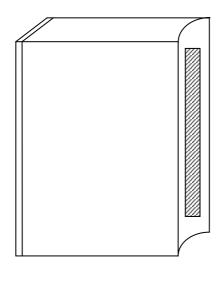
1) 貸出対象図書



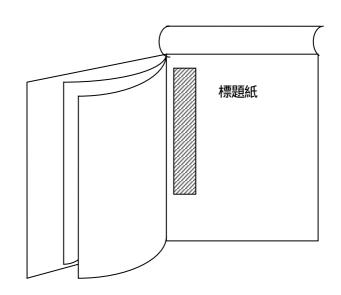
2) 禁帯出図書



3) 蔵書印を押した図書



4) 寄贈者名を記録した図書



<作成中のマニュアル>

1)貸出対象図書への資料 ID ラベルの貼付	
図書の背を左にして, $igcap (1)$ から $3 { m cm}$,背から $5 { m cm}$ のところに資料 ${ m ID}$ ラベルを貼付する。	,
2)禁帯出図書への資料 ID ラベルの貼付	
図書の背を左にして, $igg(2)$ の $igg(1)$ から $3 { m cm}$ の中央部分に資料 ${ m ID}$ ラベルを則	詂
する。ただし文字や図表がある場合はそれを避けて貼付する。	
3) 蔵書印の押印	
図書館の蔵書であることを外見的に識別できるよう印を (3) に押す。	
4)寄贈者の記録	
図書が寄贈されたものである場合,標題紙の (4) 近くに寄贈印を押し,寄贈者の姓名を記	八
する。	
折返し 小口 地 ちり 天 のど はなぎれ 表紙 見返し紙 耳	
【解答欄】	
(1) (2) (3)	

[No.10]

次は,我が国の参考図書等(冊子体)を使って資料収集する場合の一般的な手順等に関する記述である。(1) ~ (3) に該当する書名を答えなさい。

書名がわかっている時は,まず (1) に掲載されているかどうか調べる。同書に記載されていれば現在購入可能である。各本について書名,著者名,出版社,出版年,ページ,価格などが書かれ,著者名索引がついている。雑誌を購入したい時には,同様の機能を果たす (2) を使う。

また,1年間に発行された本を分野別に並べ,短い解説をつけたものに (3) がある。これには 書名索引,著者名索引がついている。

【解答欄】

 $(1) \qquad (2)$

(3)

[No.11]

メタデータを代表するものとして、ダブリンコア・メタデータ(Dublin Core Metadata Set)がある。ダブリンコア・メタデータに関する記述として最も適切なものを下から選んで記号で答えなさい。

- a. 国際標準の情報検索プロトコルに基づく書誌情報検索に使用されているメタデータで,米国議会図書館が 仕様を維持している。
- b. カリフォルニア大学バークレー校図書館のプロジェクトから開発が始まった文書類や図書館の finding aids などを記述するメタデータである。
- c. 図書館員,情報技術者等による会議で提案されたメタデータで,必要なデータ項目だけを記述できるよう に全項目がオプションである。
- d. 図書館等で,ネットワーク上の情報を内容のレベルに対応してフィルタリングを行うためのメタデータで, World Wide Web Consortium が仕様を維持している。
- e. Making of America プロジェクトで提案されたメタデータで、記述的メタデータと管理的メタデータから構成されており、米国議会図書館が仕様を維持している。

【解答欄】

[No.12]

【解答欄】 (1)

国際標準書誌記述 (International Standard Bibliographic Description) は,図書館資料の書誌記述に含まれるべき要素と要素を記述する順序及び区切り記号を定めたもので,各種の資料タイプについて制定されている。その資料タイプのうち3つを答えなさい。

【No.13】 次は索引付けに関する記述である。(1)~(4)に該当する語句を下から選んで記号で答えなさい。 It is of some importance to be able to quantify the notions of indexing (1) and (2) because of the predictable effect they have on retrieval effectiveness. It has been recognised that a high level of (1) of indexing leads to high (3) and low (4). It is true that high (2) leads to high (4) and low (3). Quite a few people have attempted to relate these two factors to document collection statistics. For example, (1) can be assumed to be related to the number of index terms assigned to a given document, and (2) related to the number of documents to which a given term is assigned in a given collection. a. device b. exhaustivity c. precision d. recall e. relevant f. specificity 【解答欄】 (1) (2) (3) (4)					
【No.13】 次は索引付けに関する記述である。(1)~(4)に該当する語句を下から選んで記号で答えなさい。 It is of some importance to be able to quantify the notions of indexing (1) and (2) because of the predictable effect they have on retrieval effectiveness. It has been recognised that a high level of (1) of indexing leads to high (3) and low (4). It is true that high (2) leads to high (4) and low (3). Quite a few people have attempted to relate these two factors to document collection statistics. For example, (1) can be assumed to be related to the number of index terms assigned to a given document, and (2) related to the number of documents to which a given term is assigned in a given collection. a. device b. exhaustivity c. precision d. recall e. relevant f. specificity	(2)				
次は索引付けに関する記述である。(1) ~ (4) に該当する語句を下から選んで記号で答えなさい。 It is of some importance to be able to quantify the notions of indexing (1) and (2) because of the predictable effect they have on retrieval effectiveness. It has been recognised that a high level of (1) of indexing leads to high (3) and low (4). It is true that high (2) leads to high (4) and low (3). Quite a few people have attempted to relate these two factors to document collection statistics. For example, (1) can be assumed to be related to the number of index terms assigned to a given document, and (2) related to the number of documents to which a given term is assigned in a given collection. a. device b. exhaustivity c. precision d. recall e. relevant f. specificity 【解答欄】	(3)				
次は索引付けに関する記述である。(1) ~ (4) に該当する語句を下から選んで記号で答えなさい。 It is of some importance to be able to quantify the notions of indexing (1) and (2) because of the predictable effect they have on retrieval effectiveness. It has been recognised that a high level of (1) of indexing leads to high (3) and low (4). It is true that high (2) leads to high (4) and low (3). Quite a few people have attempted to relate these two factors to document collection statistics. For example, (1) can be assumed to be related to the number of index terms assigned to a given document, and (2) related to the number of documents to which a given term is assigned in a given collection. a. device b. exhaustivity c. precision d. recall e. relevant f. specificity 【解答欄】					
次は索引付けに関する記述である。(1) ~ (4) に該当する語句を下から選んで記号で答えなさい。 It is of some importance to be able to quantify the notions of indexing (1) and (2) because of the predictable effect they have on retrieval effectiveness. It has been recognised that a high level of (1) of indexing leads to high (3) and low (4). It is true that high (2) leads to high (4) and low (3). Quite a few people have attempted to relate these two factors to document collection statistics. For example, (1) can be assumed to be related to the number of index terms assigned to a given document, and (2) related to the number of documents to which a given term is assigned in a given collection. a. device b. exhaustivity c. precision d. recall e. relevant f. specificity 【解答欄】					
次は索引付けに関する記述である。(1) ~ (4) に該当する語句を下から選んで記号で答えなさい。 It is of some importance to be able to quantify the notions of indexing (1) and (2) because of the predictable effect they have on retrieval effectiveness. It has been recognised that a high level of (1) of indexing leads to high (3) and low (4). It is true that high (2) leads to high (4) and low (3). Quite a few people have attempted to relate these two factors to document collection statistics. For example, (1) can be assumed to be related to the number of index terms assigned to a given document, and (2) related to the number of documents to which a given term is assigned in a given collection. a. device b. exhaustivity c. precision d. recall e. relevant f. specificity 【解答欄】	[No 13]				
the predictable effect they have on retrieval effectiveness. It has been recognised that a high level of (1) of indexing leads to high (3) and low (4). It is true that high (2) leads to high (4) and low (3). Quite a few people have attempted to relate these two factors to document collection statistics. For example, (1) can be assumed to be related to the number of index terms assigned to a given document, and (2) related to the number of documents to which a given term is assigned in a given collection. a. device b. exhaustivity c. precision d. recall e. relevant f. specificity [解答欄]		こ関する記述である。(1)~(4)に該当する語句を下	から選んで記号で答えなさい。	
(1) of indexing leads to high (3) and low (4). It is true that high (2) leads to high (4) and low (3). Quite a few people have attempted to relate these two factors to document collection statistics. For example, (1) can be assumed to be related to the number of index terms assigned to a given document, and (2) related to the number of documents to which a given term is assigned in a given collection. a. device b. exhaustivity c. precision d. recall e. relevant f. specificity	It is of some im	portance to be able to qu	antify the notions of indexing	(1) and (2) because	e of
to high (4) and low (3). Quite a few people have attempted to relate these two factors to document collection statistics. For example, (1) can be assumed to be related to the number of index terms assigned to a given document, and (2) related to the number of documents to which a given term is assigned in a given collection. a. device b. exhaustivity c. precision d. recall e. relevant f. specificity	the predictable	effect they have on retri	eval effectiveness. It has bee	en recognised that a high level of	
to high (4) and low (3). Quite a few people have attempted to relate these two factors to document collection statistics. For example, (1) can be assumed to be related to the number of index terms assigned to a given document, and (2) related to the number of documents to which a given term is assigned in a given collection. a. device b. exhaustivity c. precision d. recall e. relevant f. specificity	(1) of in	dexing leads to high	(3) and low (4) .	It is true that high (2) le	ads
Quite a few people have attempted to relate these two factors to document collection statistics. For example,				8 ()	
example, (1) can be assumed to be related to the number of index terms assigned to a given document, and (2) related to the number of documents to which a given term is assigned in a given collection. a. device b. exhaustivity c. precision d. recall e. relevant f. specificity 【解答欄】			n relate these two factors to	document collection statistics	For
document, and (2) related to the number of documents to which a given term is assigned in a given collection. a. device b. exhaustivity c. precision d. recall e. relevant f. specificity 【解答欄】	·				
collection. a. device b. exhaustivity c. precision d. recall e. relevant f. specificity 【解答欄】				0 0	
a. device b. exhaustivity c. precision d. recall e. relevant f. specificity 【解答欄】		(2) Telated to the	e number of documents to wind	ii a giveii teriii is assigileu iii a gi	ven
d. recall e. relevant f. specificity 【解答欄】	conection.				
d. recall e. relevant f. specificity 【解答欄】	a. device	h. exhaustivity	c. precision		
【解答欄】		· ·	•		
	u. recan	e. reievant	i. specificity		
(1) (2) (3) (4)	【解答欄】				
	(1)	(2)	(3)	(4)	

		Ν	0		1	4
--	--	---	---	--	---	---

次は,「日本十進分類法新訂9版」に基づいて分類する際の分類規程である。(1)~(3)に該当する語句を答えなさい。

- 1)複数の主題間で,影響関係がある場合,原則として影響を (1) 側に分類する。
- 2)複数の主題間で,原因と結果の関係がある場合,原則として (2) の側に分類する。
- 3)複数の主題間で,上位,下位の関係がある場合,原則として (3) の側に分類する。

【解答欄】

 $(1) \qquad (2) \qquad (3)$

[No.15]

次の図書を「日本十進分類法新訂 9 版」に基づき第 3 次区分表で分類したとき , 最も適切なものをそれぞれ下から選んで記号で答えなさい。

- (1) 岩波理化学辞典(岩波書店)
 - a.403 b.413 c.423 d.433 e.443
- (2) 蹴りたい背中(綿矢りさ著)
 - a.910 b.911 c.912 d.913 e.914
- (3) Encyclopaedia Britannica
 - a.030 b.031 c.032 d.033 e.034

【解答欄】

 $(1) \qquad (2) \qquad (3)$

[No.16]

次は ,「日本目録規則 1 9 8 7年版改訂 2 版」に基づく ,出版年に関する記述である。正しいものには ,正しくないものには x を答えなさい。

- (1)出版年は,資料に元号で記載されていても,西暦紀年で記録する。
- (2) 出版年は,資料に表示されている「最新の刷りの年」を記録する。
- (3)出版年は,不正確な時も資料に表示された年を記録し,正しい年を注記する。

【解答欄】

 $(1) \qquad (2) \qquad (3)$

[No.17]

図 1 ~ 3 は ,図書の標題紙(全体もしくは一部)を示したものである。「日本目録規則 1 9 8 7 年版改訂 2 版」に基づき ,タイトルと責任表示(読みは除く。)を ,ISBD 区切り記号法で(例えば ,「,」,「.」,「:」,「;」,「/」,「・」等の記号を使って)答えなさい。

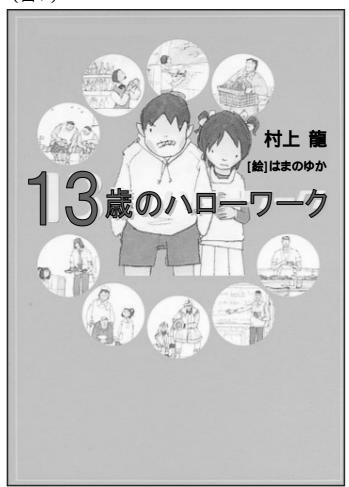
【解答欄】

(図1)

(図2)

(図3)

(図1)



(図2)



(図3)



[No.18]

図書の書誌単位には,基礎書誌単位としての単行書誌単位,集合書誌単位及び構成書誌単位の3種がある。 次の図書について「日本目録規則1987年版改訂2版」に基づき,書誌単位毎にタイトルと責任表示(読みは除く。)をISBD 区切り記号法で答えなさい。

筑摩世界文学大系 61

佐藤晃一訳

魔の山

筑摩書房

【解答欄】

- (1)単行書誌単位
- (2)集合書誌単位
- (3)構成書誌単位

[No.19]

著作物のインターネットを介した利用の拡大に伴い,著作権法も改正されてきているが,最近の改正によって可能になった事項で正しいものには、正しくないものにはxを答えなさい。

- (1) 図書館内の利用に限定するという条件で,電子図書館サービスのために著作物を複製し,サーバに搭載することができる。
- (2) 電子ジャーナル掲載の論文を学内のサーバに搭載し,学生に閲覧・印刷させることができる。
- (3) 遠隔授業を実施する過程でサーバに搭載した著作物を受講学生に提示することができる。
- (4) 授業のなかで、先生の指導を受けて、生徒が自分でホームページをプリントアウトすることができる。

【解答欄】

(1) (2) (3)

[No.20]

大学図書館における資料の館外貸出に関する著作権法の解釈として,正しいものには ,正しくないものには xを答えなさい。

- (1) 2004年の法改正により、貸与権に関する附則が削除されたことから、大学図書館で楽譜を館外貸出するには著作者の許諾が必要になった。
- (2) 教員が授業で使用するためであれば,大学図書館は,音楽 CD や音楽テープを館外貸出することができる。
- (3) 大学図書館は,著作権法でいう非営利の「視聴覚教育施設その他の施設で ... 政令で定めるもの」なので,映画の著作権補償処理済 DVD を館外貸出ができる。

【解答欄】

 $(1) \qquad (2) \qquad (3)$

[No.21]

テイラー (R.S.Taylor) は情報ニーズを四つの段階に分けているが, 各段階についての説明のうち,(1)~(4)に該当するものを下から選んで記号で答えなさい。

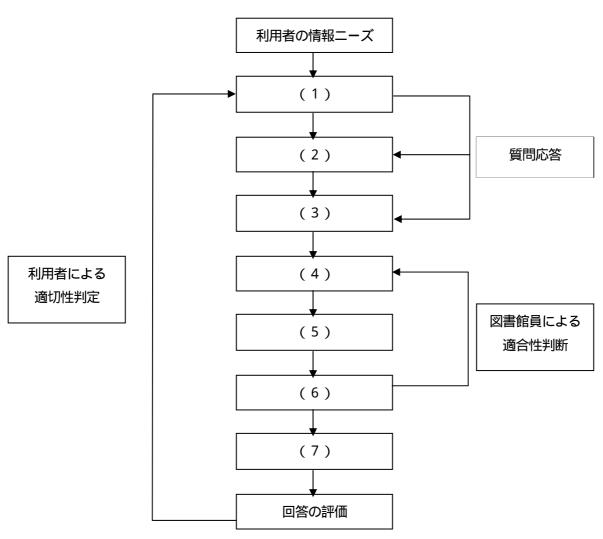
Visceral need:	(1)
Conscious need:	(2)
Formalized need:	(3)
Compromised need:	(4)

- a. There is the conscious or even unconscious need for information not existing in the remembered experience of the inquirer. It may be only a vague sort of dissatisfaction. It is probably inexpressible in linguistic terms. This need (it really is not a question yet) will change in form, quality, concreteness, and criteria as information is added, as it is influenced by analogy, or as its importance grows with the investigation.
- b. An inquirer can form a qualified and rational statement of his question. Here he is describing his area of doubt in concrete terms and he may or may not be thinking within the context or constraints of the system from which he wants information. By the way, he may view the librarian as part of the system at this level, rather than as a colleague. This distinction is important. As one interviewed librarian said: "For most people, I am the information system."
- c. The question is recast in anticipation of what the files can deliver. The searcher must think in terms of the organization of particular files and of the discrete packages available such as books, reports, papers, drawings, or tables.
- d. There is a conscious mental description of an ill-defined area of indecision. It will probably be an ambiguous and rambling statement. The inquirer may, at this stage, talk to someone else to sharpen his focus. He presumably hopes that two things will happen in this process: (a) his colleague will understand the ambiguities; and (b) these ambiguities will gradually disappear in the course of the dialogue.

【解答欄】 (1) (2) (3) (4)

[No.22]

レファレンスプロセスのモデルについて,以下の(1)~(7)に該当するものを下から選んで記号で答えなさい。



- a. 検索戦略の構築
- b. 回答の提供
- c. 質問の受付
- d. 検索の実行
- e. 質問の明確化
- f. 検索結果の評価
- g. 質問の再定式化

【解答欄】

- (1) (2)
- $(5) \qquad (6) \qquad (7)$

(4)

[No.23]

アメリカ図書館協会(ALA)のガイドライン「レファレンス及び利用者サービスライブラリアンのための専門的能力(professional competencies)」では、レファレンス・ライブラリアンや利用者サービスライブラリアンがその専門的能力を発揮するために必要とされる行動が次の事項ごとに例示されている。

- (1) Application of knowledge
- (2) Evaluation
- (3) Responsiveness
- (1)~(3)に該当する記述を下からすべて選んで記号で答えなさい。
- a. Analyzes information sources recommended to users in the context of the attractiveness, interests, and content level for each user.
- b. Engages users in focus groups, surveys, and feedback forms as a user follow-up for reaction and perception of reference services.
- c. Engages user in discussions about experiences related to their information needs and communicates interest in every user's experiences.
- d. Experiments with latest available innovations to assist users in meeting their information needs.
- e. Identifies the strengths and weaknesses of the products being offered as part of reference services delivery.

【解答欄】

(1) (2)

[No.24]

利用者から以下の質問があった場合に使用する参考図書として最も適切なものを下から選んで記号で答えなさい。

- (1) Linux の開発者である Linus Torvalds の経歴を知りたい。
- (2) ヘルシンキの10月の平均気温を知りたい。
- (3) 芬蘭とはどの国のことか。
- (4) 鴻上尚史のエッセイ「ドンキホーテのピアス 349回」が雑誌 Spa!のどの号に掲載されたか知りたい。
- a. Biography indexb. Current biographyc. 大漢和辞典d. 難訓辞典e. 大宅壮一文庫雑誌記事索引f. 理科年表
- g. 世界の統計 h. 雑誌記事索引

【解答欄】

(1) (2) (3)

[No.25]

次は,学術コミュニケーションに関する記述である。この記述に合致するものには ,合致しないものには ×を答えなさい。

To economists, scholarly journals and journal articles are "goods." In recent years their prices have risen significantly and the quantity of journal articles has also risen. According to the Association of Research Libraries, serials subscription prices in U.S. dollars rose 207% between 1986 and 1999. During the same period, Ulrich's International Periodicals Directory's listing of titles increased by 55%. Is this increase in quantity-supplied evidence of a market moving toward equilibrium? Are we about to see falling prices in response to increasing supply?

What keeps this market from having prices that respond to increased supply is its very nature. It is highly segmented, with the most prestigious segments being nearly completely price inelastic. These segments include those top few journals in each discipline that scholars and practitioners understand to be the repositories of the most carefully refereed literature. Publishing in one of these few journals on a repeated basis signals that an established scholar is among the elite; publishing a single article identifies a young scholar on a trajectory to join that elite. No reputable academic research institution in which the discipline is studied would seriously contemplate dropping a subscription to one of these journals.

It is not easy for a journal to enter this elite group. Because these journals publish what is acknowledged to be the best material in a field, new scholarship is sent there first and appears in journals in lower tiers only if it is first rejected by those in the top. Journals can rise into this top tier but it takes much time to develop top tier cachet. Generally the route to the top is through the emergence of a new sub field that is not initially published in the established top journals; for example the emergence of econometrics spawned journals that are now in the top tier of economics journals. Importantly, it is not head to head competition that generally leads to the emergence of a top tier journal but expansion of the field.

Inelastic demand permits one to raise prices with subscription quantity falling less rapidly than price rises. Profit margins can be increased when prices are in this range and increased profit margins can then be maintained.

cachet 印,名声 trajectory 軌道,道筋

- (1) 学術研究機関がトップジャーナルを購読中止しないのは,その雑誌を購読していることが著名な学術 機関としての名声を得ることになるからである。
- (2) 経済学者によると雑誌も「商品」なので、一般商品と同じ市場原理により供給の増加により価格が下 落する。
- (3) 計量経済学の雑誌は,経済学の雑誌から派生し,トップジャーナルになった。
- (4) トップジャーナルの価格が押し上げられるのは,需要が非弾力的だからである。

【解答欄】

(4)(1)(2) (3)

[No.26]

次は大学図書館に関する統計である。(1)~(3)の記述について,正しいものには ,正しくないものにはxを答えなさい。ただし,各年度に対する学生数は次年度 5 月 1 日現在の数字を使いなさい。

出典:平成15年度大学図書館実態調査結果報告(文部科学省)

区分	会計年度	国立大学	公立大学	私立大学	計
	年度	千冊	千冊	千冊	千冊
蔵書冊数	11	89,365	15,668	141,056	246,089
(年度末日現在)	12	90,215	16,407	148,128	254,750
	13	91,412	16,941	153,811	262,164
	14	92,986	17,567	160,241	270,794
	年度	千冊	千冊	千冊	千冊
図書受入冊数	11	1,810	752	5,256	7,818
(年度実績)	12	1,814	700	5,355	7,869
	13	1,728	572	5,228	7,528
	14	1,900	588	4,955	7,443
	年度	百万円	百万円	百万円	百万円
図書館資料費	11	26,007	5,663	51,957	83,627
(年度実績)	12	24,049	4,628	48,790	77,467
	13	23,032	4,329	47,608	74,969
	14	23,379	4,260	47,145	74,785
	年度	人	人	人	人
学生数	12	631,062	114,338	2,135,234	2,880,634
(5月1日現在)	13	628,657	114,784	2,106,077	2,849,518
	14	626,449	120,380	2,148,324	2,895,153
	15	626,083	123,723	2,173,571	2,923,377

- (1) 平成13年度と14年度における学生1人当たりの蔵書冊数は,国立大学が一番多い。
- (2) 平成13年度と14年度における学生1人当たりの図書受入冊数は,国立大学が一番多い。
- (3) 平成13年度と14年度における学生1人当たりの図書館資料費は,国立大学が一番多い。

【解答欄】

(1) (2) (3)

	. 27】 ., 国立情報学研究所	・ (NII)の事業に関する記	述である。(1)~(3)に該	当するものを下から選んで
記号で	答えなさい。			
際社会 ータ・ 学術 (を進め	におけるわが国の知 データベース共同構 情報の収集・発信体 (2)), f	的存在感の確立を意図する 築事業とともに , 今後の 制の強化のため , NII の 青報検索サービス , 電子図	, 学会活動の拡大を図り , 学術るものである。2002 年の 10 月 学術情報コンテンツの構築を担果たす役割は大きい。NII に 習書館サービス等の事業のほか 報の発信窓口(ポータル機能)を	に開始された NII のメタデ うことになる。 おいては,目録所在サービス ,学術情報の基盤整備・流通
a. GeN	J ii	b. GIF	c. NACSIS Webcat	d. NACSIS-ELS
	CSIS-ILL	f. NACSIS-IR	g. NACSIS-CAT	h. NII-REO
【解	RC/JAPAN 答欄】 1)	(2)	(3)	
_	さい。 TCP/IP を利用して	∑通信する場合には , それ	ある。(1)~(3)に該当する ぞれのコンピュータに IP アド ら。これを自動化するためのプ!	・レスやデフォルト・ゲート
	を割り当てるサーク	` '	1 う。	
2)	インターネットの シンを (2) ィック軽減に使われ	という。主に学内を	zスを中継するためのソフトウ ネットワークとインターネット	
3)	(3) は 分からない場合 もらえる。	<u> </u>	、の対応表を持つ。 通信したい は なき問い合わせると , そのホス	
a. DB	サーバ	b. DHCP サーバ	c. DNS サーバ	
	e サーバ	e. Print サーバ	f. Proxy サーバ	
【解	答欄】			

(3)

(2)

(1)

[No.29]

次の表において、A という語の BT (上位語)は A1、NT (下位語)は A2、RT (関連語)は A3 であることを示している。B、C についても同様である。論理積を AND、論理和を OR、論理差を NOT と表記する。

	A	В	С
BT	A1	B1	C1
NT	A2	B2	C2
RT	A3	В3	C3

「 A NOT B AND C 」という検索式よりも再現率の高い検索式には , そうでない検索式には × を答えなさい。

- (1) A NOT (B OR B3) AND C
- (2) A1 NOT B AND C1
- (3) (A1 OR A3) NOT B2 AND C
- (4) A2 NOT B1 AND C2

【解答欄】

(1) (2) (3)

[No.30]

著者名順にソートされたデータベースを著者名で検索する場合の探索アルゴリズム (手順)の一つに2分探索法がある。この2分探索法の探索手順を簡潔に答えなさい。

【解答欄】